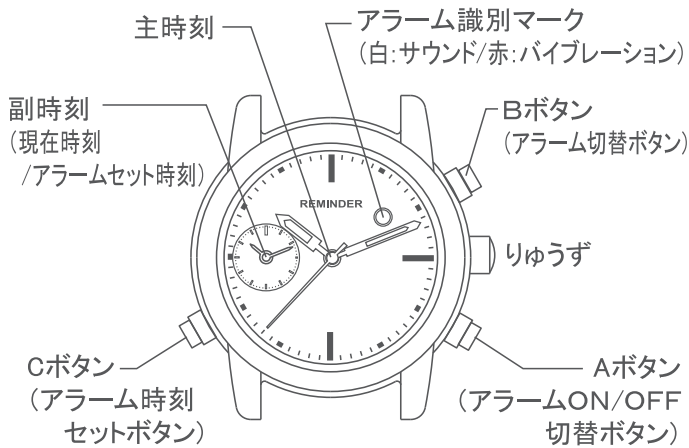
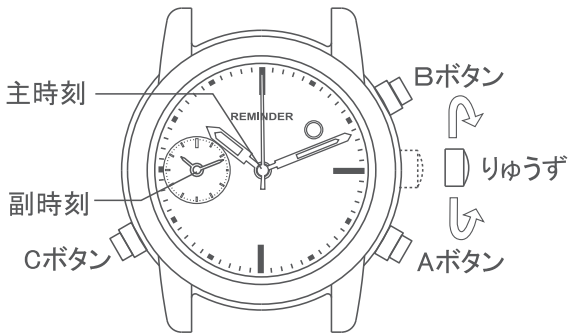


866タイプの特徴と各部の名称

この時計は、サウンドアラームと、バイブレーション(振動)アラームの2種類のアラーム機能を搭載したアナログクォーツです。



時計の合わせ方



- ① 秒針が0秒位置にきたときに、リューズを引き出します。
 - ② リューズを回して主時刻を合わせます。
 - ③ Cボタンを押して副時刻を主時刻に合わせます。
 - ・Cボタンを1回押す毎に1分ずつ修正ができます。
 - ボタンを押し続けると早修正できます。
 - ④ 時報等に合わせてリューズを通常位置に戻します。
 - ・主時刻: 1秒単位で運針します。
 - ・副時刻: 1分単位で運針します。
- ※誤ってリューズ引き出し操作をした場合は再度①から合わせ直してください。



時刻合わせ操作を行うとアラームはOFFになります。時刻合わせの際、主時刻に副時刻を正しく合わせないとアラームが正しい時刻に作動しませんので、ご注意ください。

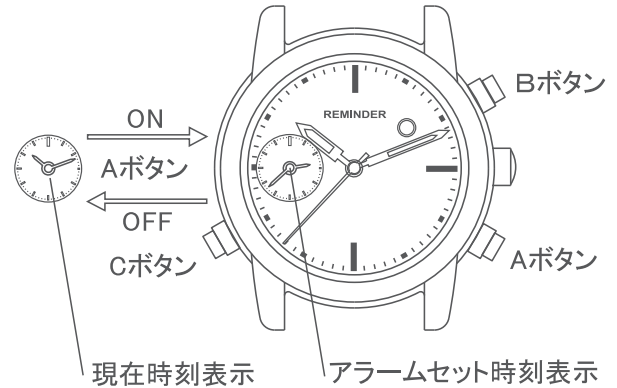
アラームの使い方

この時計のアラームは12時間制です。アラームは一度作動すると自動的にOFFとなり、副時刻(アラームセット時刻)は現在時刻表示に切り変わり、主時刻と連動します。

●アラーム時刻のセット方法

Cボタンを押して副時刻でアラームセットします。(最初のボタン操作は、Cボタンを0.5秒以上押し続けると1分進みます。その後はCボタンを押す毎に1分進みます。なお、Cボタンを押し続けると早送りできます。)

・アラームセット(副時刻)した時刻になるとサウンドアラームの場合は………15秒間鳴ります。バイブレーションアラームの場合は……10回振動します。その後は、アラームOFFとなり副時刻は現在時刻に切り替わります。



アラームセット時刻はメモリーされていますのでAボタンを押して再びアラームONにすると、メモリーされているセット時刻に切り替わります。

- サウンドアラームとバイブレーションアラームの切り替え方法
 - Bボタンを押す毎にアラームの告知方法が、サウンドアラームとバイブレーションアラームの交互に切り替わります。
 - ・識別マークが“白”: サウンドアラーム
 - ・識別マークが“赤”: バイブレーションアラーム
- アラームの作動時間と止め方
 - ・時刻がアラームのセット時刻と一致すると、アラームが15秒間(又は10回振動)作動します。
 - ・アラームは、どのボタンを押しても止まりません。
- アラームON、OFFの方法
 - ・Aボタンを押す(約2秒)毎に、ON、OFFが切り替わります。アラームON状態になると、副時刻はアラーム設定時刻に切り替わります。この時サウンドアラームの場合は3回鳴り、バイブレーションアラームの場合は3回振動します。アラームOFF状態では、副時刻は現在時刻に切り替わり主時刻に連動して運針します。